

資料目録Ⅱ

新村猛関係資料目録Ⅱ

奥 村 旅 人* 須 永 哲 思** 福 家 崇 洋***

【凡例】

- ・ 資料は予め書簡と書類に分けて整理されて、封筒毎に収録されていたため、この秩序を尊重して資料1点ごとのデータを並び順に作成した。
- ・ 書簡篇は資料が入っている封筒名、資料の作成年月日、資料名、作成者、宛先を記載した。
- ・ 書類篇は資料が入っている封筒名、資料の作成年月日、資料名、作成者、発行者を記載した。
- ・ 資料名、作成年月日、作成者、発行者、宛先とも明確な表記が資料に記載されている場合はそれを記載し、されてない場合は亀甲括弧で目録作成者が記載した。
- ・ 備考欄には資料に関する情報を目録作成者が記載した。

* おくむら たかひと 京都大学大学院教育学研究科

** すなが さとし 京都大学人文科学研究所

*** ふけ たかひろ 京都大学人文科学研究所

資料目録Ⅱ 新村猛関係資料目録Ⅱ（書簡篇）

資料 No	封筒名	年	月	日	タイトル	作成者/発行者	宛 先	備 考
L-373		1973	2	25	〔新村猛宛浅賀ふさ書簡〕	浅賀ふさ	新村猛	名古屋知事選につき。
L-374					〔新村猛宛山村博俊書簡〕	山村博俊	新村猛	名古屋知事選御礼。
L-375		1960	1	2	〔新村猛宛能勢克男書簡〕	能勢克男	新村猛	賀状。
L-376		1957	5	23	〔新村猛宛能勢克男書簡〕	能勢克男	新村猛	成婚お祝。
L-377		1961	5	29	〔新村猛宛能勢克男書簡〕	能勢克男	新村猛	「土曜日」刊行維持について。
L-378	courier expédiées de l'étranger 1982～	1982	10	13	〔新村猛宛 JONINPierre 書簡〕	JONIN Pierre	新村猛	
L-379	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958	6	14	〔新村猛宛 SERGEBLANC 書簡〕	SERGE BLANC	新村猛	「おじさん」と記載。
L-380	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958	6	27	〔新村猛宛 葉書〕		新村猛	
L-381	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958	3	13	〔新村猛宛 ロジェ・ヴァンエック 書簡〕	ロジェ・ヴァンエック	新村猛	札状。
L-382	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958	11	13	〔新村猛宛 エリセエフ 書簡〕	エリセエフ	新村猛	
L-383	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958			〔新村猛宛 Serge Elisséeff 葉書〕	Serge Elisséeff	新村猛	「おじさん」と記載。
L-384	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958			〔新村猛宛 Takako Fujinami 葉書〕	Takako Fujinami	新村猛	フロレンス安着通知。
L-385	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958			〔新村猛宛 葉書〕		新村猛	「おじさん」と記載。
L-386	courier expédiées de l'étranger 1982～	1959	2		〔新村猛宛 Takako Fujinami 葉書〕	Takako Fujinami	新村猛	近況通知。
L-387	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958	7	18	〔新村猛宛 寿一・高田壮一郎・前田・黒田 葉書〕	寿一・高田壮一郎・前田・黒田	新村猛	写真同封。
L-388	courier expédiées de l'étranger 1982～	1982	4	21	〔新村猛宛 Louise Lecoy 葉書〕	Louise Lecoy	新村猛	
L-389	courier expédiées de l'étranger 1982～	1982	5		〔新村猛宛 Felix Lecoy 書簡〕	Felix Lecoy	新村猛	
L-390	courier expédiées de l'étranger 1982～	1982	6	30	〔新村猛宛 Felix Lecoy 書簡〕	Felix Lecoy	新村猛	
L-391	courier expédiées de l'étranger 1982～	1977	2	10	〔新村猛宛 Jeanne Wachelet-Willen 書簡〕	Jeanne Wachelet-Willen	新村猛	
L-392	courier expédiées de l'étranger 1982～	1971	11	7	〔新村猛宛 Ioan Grigorescu 書簡〕	Ioan Grigorescu	新村猛	仏文。□は判読不可（以下同）
L-393	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958	9	10	〔新村猛宛 □□書簡〕	□□	新村猛	仏文。
L-394	courier expédiées de l'étranger 1982～	1964	2	29	〔新村猛宛 □□書簡〕	□□	新村猛	仏文。
L-395	courier expédiées de l'étranger 1982～	1964	3	20	〔新村猛宛 □□書簡〕	□□	新村猛	仏文。
L-396	courier expédiées de l'étranger 1982～	1967	12	5	〔新村猛宛 S・エリセエフ 書簡〕	S・エリセエフ	新村猛	新村出走。
L-397	courier expédiées de l'étranger 1982～	1968	8	10	〔新村猛宛 Haguenauer 葉書〕	Haguenauer	新村猛	仏文。
L-398	courier expédiées de l'étranger 1982～	1958	8	19	〔新村猛宛 S・エリセエフ 書簡〕	S・エリセエフ	新村猛	会見のお礼。
L-399					〔新村猛著作集刊行通知〕	新村泰子・原夏子・新村恭		
L-400	クリアーフファイル	2005	2		〔原夏子書簡〕	原夏子		新村猛 13 回忌にともなう小冊子刊行通知。
L-401	クリアーフファイル	2004	初冬		〔新村泰子書簡〕	新村泰子		新村猛 13 回忌にともなう小冊子刊行通知。ビニール袋に一括。
L-402	クリアーフファイル	2004	初冬		〔原夏子書簡〕	原夏子		新村猛 13 回忌にともなう小冊子刊行通知。ビニール袋に一括。
L-403	クリアーフファイル	2004	初冬		〔原夏子書簡〕	原夏子		新村猛 13 回忌にともなう小冊子刊行通知。ビニール袋に一括。
L-404	クリアーフファイル	2005	2		〔原夏子書簡〕	原夏子		新村猛 13 回忌にともなう小冊子刊行通知。ビニール袋に一括。
L-405	クリアーフファイル	2005	2		〔原夏子書簡〕	原夏子		新村猛 13 回忌にともなう小冊子刊行通知。ビニール袋に一括。

新村猛関係資料目録Ⅱ（奥村・須永・福家）

資料目録Ⅱ 新村猛関係資料目録Ⅱ（書類篇）

資料 No	封筒名等	作成年月日	タイトル	作成者/発行者	備 考
D-419	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1991 年	「Des régionalismes dans Florent et Octavien」	Takeshi Matsumura	“Études de langue et littérature françaises” No. 58 掲載抜刷。 新村先生宛松浦明哲閣（1991 年 4 月 10 日）同封。
D-420	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1991 年 1 月	「十一世紀以前のフランス（フランキア）と「ロラン」の歌」 における「フランス」]	藤田哲夫	【仏蘭西文芸】14・15 号掲載抜刷。
D-421	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1990 年 12 月	「大学仏語教育におけるドキュマン・オクタンティック テレビニュースの教材化（一）」	西崎愛子	【教養論集】（成城法学）8 号掲載抜刷。「藤呈 新村猛先生 西崎」と 記載。
D-422	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1990 年 8 月 10 日	「数の真意 キョーム・ド・ロリス『蕃教物語』の場合」	篠田勝英	【仏語仏文学研究】5 号。「新村猛先生 篠田勝英 26/05/1991」と記載。
D-423	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1990 年 12 月	「巡礼者と白昼夢 キョーム九世第五歌往来」	瀬川直彦	【社会科学討究】105 号。「新村猛先生」と記載。
D-424	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1990 年 12 月	「LA CINQUEME ROUE DU CARROSSE」	松原秀一	【慶應義塾大学言語文化研究所紀要】22 号掲載抜刷。 新村猛蔵星フランス語記載。
D-425	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1991 年 3 月 10 日	「「イールのガイナス」と「教玄伝」	松原秀一	【芸文研究】59 号掲載抜刷。「藤呈 新村猛様 筆者」と記載。
D-426	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1974 年	「ロマンス諸語比較研究とスペイン語通時言語学とのくいち がい」	原誠	【東京外国語大学論集】24 号掲載抜刷。招降者一覧抹込み。
D-427	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1990 年	「71 人の博士たち：「プロヴァンシアル」第 1 巻の一文を めぐって」	小柳公代	【日本フランス語フランス文学会中部支部研究報告集】 No.14 収録抜刷。「新村猛先生 小柳公代 1990.5.18」と記載。
D-428	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1990 年 12 月	「デウスの御内証 キリシタンの神概念とその表現」	米井力也	【金剛聖開大学研究誌】21 号掲載抜刷。 新村猛宛米井力也原稿（1991 年 1 月）。新村猛葉書同封。
D-429	仏語関係（学会・論文等）抜刷	1991 年	「Lexique des premiers documents romans 2」	Yorio Otaka	【言語文化研究】17 号掲載抜刷。 「新村猛先生圭恵存 1991.4.12」と記載。
D-430	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【仏文享し一括】		クリップで綴じ。
D-431	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【Faire que sage(s)】		2 枚。
D-432	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【anc. fr. における que の一用法について】		直筆。No.1～13。
D-433	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【Sur l'emploi de que dans 「faire que sage(s)」】	T. Shimmura	ホキスで綴じ。タイトルを見え消し。書き込みあり。
D-434	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【書き付け】		クリップで綴じ。4 枚。
D-435	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【メモ帳断片】		フランス語を書き付け。富士銀行メモ帳を使用。
D-436	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【名刺 福岡好信】		裏にフランス語を書き付け。
D-437	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【2) en ancien provençal】		ノート断片。
D-438	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【III Exemples】		No.1～3. 3。
D-439	例文 faire que Sage(s) 関係資料	1967 年 8 月 2 日	【新村猛宛松原秀一書簡】		フランス語を記載。
D-440	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【書き付け】		裏に「例文 「faire que sage(e)」における que について」と記載。
D-441	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【封筒】		【フランス語ゼミ（新村）】など記載。
D-442	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【教務委員文書】		3 枚。うち 1 枚に書き込みあり。
D-443	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【Faire que sage(s), fai que cortee】		ザラシ。裏に書き込みあり。
D-444	例文 faire que Sage(s) 関係資料	1967 年	【ペトナム人民支援 平和年賀はがき】		
D-445	例文 faire que Sage(s) 関係資料	1966 年 1 月 10 日	【TAKESHI SHIMMURA 宛 LIBERIA P. TOMBOLINI & C 葉書】		
D-446	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【「日本の名画」全巻予約申込書】		書き込みあり。
D-447	例文 faire que Sage(s) 関係資料	1968 年 7 月 22 日	【Prof. T. Shimmura 宛封筒】		表裏にフランス語記載。
D-448	例文 faire que Sage(s) 関係資料		【書き付け】		直筆。
D-449	「天草本イソト物語」（岩波文庫版） 鈴木博氏（86～	1988 年 5 月 6 日	【新村猛宛鈴木博書簡】		
D-450	「天草本イソト物語」（岩波文庫版） 鈴木博氏（86～	1968 年 4 月	【昭 63.4 京都府立阪大 新歓パンフ】		

D-451	「天草本イソップ物語」(岩波文庫版) 鈴木博氏 (86~)		「天草版イソップ物語における新村博士かなかな翻字の習長と問題点 votaru deqeo の場合など 付、原ローマ字への疑問一つ」	鈴木博	ホチキスで綴じ。No. 1~12。
D-452	「天草本イソップ物語」(岩波文庫版) 鈴木博氏 (86~)		【新村猛宛鈴木博封筒】		「要 文庫本 天草版イソップのことなど」と記載。
D-453	織塚亨	1979 年 12 月 3 日	【新村猛宛内閣総理大臣大平正芳任命書】		「中央会学対策審議会委員」。
D-454	日本文芸家協会	1970 年 4 月 21 日	「社団法人 日本文芸家協会 第二十四回定期総会議事資料」		ホチキスで綴じ。【念四十五年四月四日付発信 新村猛】と記載。
D-455	日本文芸家協会	1970 年 4 月 21 日	「社団法人 日本文芸家協会 第二十四回定期総会議事資料」		ホチキスで綴じ。
D-456	日本文芸家協会	1970 年 4 月 21 日	「社団法人 日本文芸家協会 第二十四回定期総会議事資料」		ホチキスで綴じ。
D-457	日本文芸家協会	1970 年 3 月 31 日	「賃借対照表 (昭和 45 年 3 月 31 日現在)」		ホチキスで綴じ。書き込みあり。
D-458	日本文芸家協会	1970 年 4 月 22 日	【新村猛宛社団法人日本文芸著作権保護同盟(中山書簡)】		直筆。新村猛宛社団法人日本文芸著作権保護同盟封筒内。
D-459	日本文芸家協会		【著作権借証申込書】		未使用。新村猛宛社団法人日本文芸家協会封筒内。
D-460	日本文芸家協会		【「日本文芸家協会日本文芸著作権保護同盟(中山書簡)」		新村猛宛社団法人日本文芸家協会封筒内。
D-461	日本文芸家協会	1968 年 6 月 11 日	「総会・懇親会のお知らせ」	井上靖・中田文雄	新村猛宛社団法人日本文芸家協会封筒内。
D-462	封筒「新村先生 (岩波映画製作所)」		【新村猛宛書簡 Enrique Vera Iniguez 書簡】		スペイン語か。タイプ文。
D-463	封筒「新村先生 (岩波映画製作所)」	未詳	写真	未詳	スペインの風景。背後写真か。
D-464	封筒「新村先生 (岩波映画製作所)」	未詳	写真封筒「Jose Oliver Sala Fotografio Repoter Pueblo Español, Barcelona (España)」	未詳	裏面に書き付けあり。
D-465	封筒「新村先生 (岩波映画製作所)」	未詳	ネガ「夜員室勤務浅見様 十一月四日夕 新村 (三菱印刷紙 月光)」	未詳	6 本 (写真 23 枚分)。
D-466	封筒「新村先生 (岩波映画製作所)」	未詳	ネガ (バフアン紙封筒入り)	未詳	3 点 (写真 3 枚分)。S2 写真の内の 1 枚のネガか。
D-467	封筒「Universita Degli Studi Di Padova」	1985 年 9 月 16 日	「Quelques remarques sur theme: Paul Meyer et les chansons de geste」	M. Albertodimentai	16 枚。「ESPRESSO (EXPRES)」のスタンプシール貼付け。
D-468	封筒「Universita Degli Studi Di Padova」		封筒入り電報「Manuscript Parti Ce. Matin Hommages de geste」	Limentani	
D-469	封筒「[10.30 猛 (三回忌?) の集い名簿」		名簿「氏名・住所・電話番号／「友人・知人」「親族」「出席者名簿 友人・知人」		9 枚。
D-470	封筒 (尙: 野川紀夫 (民主主義文学同盟名古屋支部), 宛: 新村猛)	1971 年 7 月 5 日 (消印)	「地文化と文学の役割」 — 新村猛氏を四んで —	野川紀夫	手書きの講演記録 32 枚。
D-471	封筒 (尙: 山田幸男, 宛: 新村猛)	1981 年 6 月 25 日	書簡「[新村出道偉文集] の後記・奥付を同封して送った旨など」	山田幸男	封筒表面に表面に「校正在中」と書き込み。
D-472	封筒 (尙: 山田幸男, 宛: 新村猛)	1981 年 6 月 25 日か	「美意識年 新村出道偉文集」	精興社	「美意識年 新村出道偉文集」の「編集後記」校正紙のコピーに赤入れされたもの。9 頁。
D-473	封筒 (尙: 山田幸男, 宛: 新村猛)	1981 年 6 月 25 日か	「新村出道偉集 目次 再校 精興社」	精興社	8 枚。
D-474	封筒 (尙: 草川将/赤字で西端幸雄, 宛: 新村猛)	未詳	【広辞苑草稿】		15 枚 1 部、10 枚 1 部。
D-475	封筒 (尙: 全国同和教育研究協議会, 宛: 新村猛)		【新村猛宛市川美穂子葉書】	市川美穂子	原稿の催促。
D-476	要寄稿		【門田秀夫尙, 新村猛宛社状】	門田秀夫	「同和教育」への原稿依頼の内容。
D-477	要寄稿		「二つの世界・二つの人類 部落解放のために」	新村猛	プリント 2 枚 1 部。
D-478	封筒「[全国同和教育研究協議会] 宛: 新村泰子」	1987 年 5 月 7 日	【新村猛宛市川美穂子書簡 (送り状)】	市川美穂子	「部落」創刊号 (復刻版) のコピー送付の件。
D-479	封筒 (尙: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)		【愛知県立大学外国語学部野村達朗名刺】	野村達朗	封筒表面に「図書館側に関する書類」と書き込み。
D-480	封筒 (尙: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)		封筒「受領書在中」		
D-481	封筒 (尙: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)		「新村達書 (西洋中世文明ロマンス語研究所蔵文庫) 搬送記録」		封筒「受領書在中」内。

新村猛関係資料目録Ⅱ（奥村・須永・福家）

D-482	封筒 (宛: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)	1992年 7 月 14 日	「受領書」		封筒「受領書在中」内。
D-483	封筒 (宛: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)	1992年 7 月 14 日	「平成 4 年度第 7 回評議会 (510) 記録」		
D-484	封筒 (宛: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)		「新村文庫搬送図書リスト」		
D-485	封筒 (宛: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)	1994 年 6 月 28 日	「受領書」	野村達明	
D-486	封筒 (宛: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)		「新村蔵書 (西洋中世文明ロマン司語研究所所蔵文庫) 搬送記録 H5.6—H6.9」		
D-487	封筒 (宛: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)	1993 年 6 月 30 日	「取受領書」	野村達明	
D-488	封筒 (宛: 愛知県立大学外国語学部, 宛: 新村泰子)		「新村猛氏蔵書 (西洋中世文明ロマン司語研究所所蔵文庫) の受け入れについてのスケジュールのおおよその予定」		
D-489	封筒 (宛: 岡田孝一, 宛: 新村泰子)	1993 年 1 月 13 日	「新村泰子宛岡田孝一書簡」	岡田孝一	
D-490	封筒 (宛: 岡田孝一, 宛: 新村泰子)	1993 年 1 月 12 日	「長岡新聞 1993 年 1 月 12 日」		新村猛者著作集。
D-491	封筒 (新村先生を懇話会)	1993 年 3 月 13 日	「購入申込書」	三一書房	
D-492	封筒 (新村先生を懇話会)		「新村猛先生を懇ふつといい プログラム」		
D-493	封筒 (新村先生を懇話会)	1993 年 2 月 2 日	「『新村猛先生を懇ふつとい』 第 1 回実行委員会まとめ」		
D-494	封筒 (新村先生を懇話会)		「新村猛先生の生い立ちと足跡——七色の虹に彩られた巨大な山脈」	実行委員会	
D-495	封筒 (新村先生を懇話会)		「『新村猛先生を懇ふつとい』のお知らせ」		
D-496	封筒 (新村先生を懇話会)		「真下信一・新村猛「暗い時代と抵抗の歴史——雑誌『世界文化』をめぐる一』抜刷」		
D-497	封筒 (名大評論「暗い時代と抵抗の歴史」)			泉井久之助	
D-498	封筒「学士会館」	1982 年 10 月 1 日	「業績推薦書」	新村猛	
D-499	封筒「学士会館」	1982 年 10 月 7 日	「飯倉篤義・人矢義高・藤田章子宛新村猛書簡」	飯倉篤義	
D-500	封筒「学士会館」	1982 年 10 月 12 日	「新村猛宛飯倉篤義書簡」	新村祐一郎・谷村友一・沢田千枝子・福田章子	写し。 写し。
D-501	封筒「学士会館」	1982 年 3 月 1 日	「申込書」		
D-502	封筒「学士会館」		「契約書 (案)」		広徳苑に関する岩波書店との契約書案か。
D-503	封筒「学士会館」	1982 年 8 月 29 日	「新村猛宛人矢義高書簡」	人矢義高	写し。新村猛による「陳謝状」を福田理事が承服できない旨。
D-504	中野好丈氏		「新聞記事切り抜き」		「中野好丈氏」紙封筒内。
D-505	中野好丈氏		「新聞記事切り抜き」		「天竺人語」。「85.2.21 朝日」と記載。「中野好丈氏」紙封筒内。
D-506	中野好丈氏		「新聞記事切り抜き」		「平和を求めた英文学者 中野好丈氏死去」。「中野好丈氏」紙封筒内。
D-507	真下信一氏		「新聞記事切り抜き」		「東海の平和運動の支柱 真下信一氏死去」。「85.2.10 朝日」と記載。 「真下信一氏」紙封筒内。
D-508	真下信一氏		「新聞記事切り抜き」		「庶民的な情熱家 故真下氏 学生にも慕われた」 「1985.2.10 朝日」と記載。「真下信一氏」紙封筒内。
D-509	真下信一氏		「新聞記事切り抜き」		「現代のソクラテスだった」故真下さん惜しまれ教え子」 「1985.2.10 朝日」と記載。「真下信一氏」紙封筒内。
D-510	真下信一氏		「新聞記事切り抜き」		「ヒューマンイズムのマルキスト 真下信一氏名譽教授死去」 「1985.2.10 朝日」と記載。「真下信一氏」紙封筒内。
D-511	真下信一氏		「新聞記事切り抜き」		「名大名誉教授 真下信一氏が死去 ヘーゲル、マルクスの権威 平和運動実録も」「1985.2.10 毎日」と記載。「真下信一氏」紙封筒内。
D-512	第 173 号 【卒業生特集号】	1982 年 3 月 22 日	「理性的な行動と思考を卒業生におくる」(一面掲載)	新村猛	

D-513	『名古屋大学文学部二十周年記念論集 抜刷』	1968 年 12 月	『例文 (faire que sage(s)) における que について』	新村猛	3 部。
D-514	『面位上人古墳記』	1937 年 2 月	『面位上人古墳記』	似雲/岡村槐軒	
D-515	『全人類のためのラ・マルセイユ－レジスタンスの生き証人アンドレ・トレゼンを迎えて』	1989 年 9 月 17 日	『フランス革命 200 年・第 2 次大戦 50 年を記念して アンドレ・トレゼンを迎える』	新村猛/アンドレ・トレゼンを招く会	アンドレ・トレ「フランス革命を考える」[中日新聞] (夕刊, 1989 年 9 月 18 日) 2 部, 「フランス・レジスタンス博物館館長「アンドレ・トレゼンを招く会」の呼びかけ人に加わっていただくためのお願い」(新村猛・本山政雄, 1988 年 11 月 30 日), 「ラ・マルセイユーズの風」フランス・レジスタンス博物館館長アンドレ・トレゼンを招く会」ニューズ No2, (1989 年 7 月 7 日), が挟み込み。
D-516	『朝日新聞』	1957 年 9 月 10 日	「死をおそれ、生をいとおしみ幸福を求める心、作者と公衆を結ぶもの」	新村猛	5-6 面のみ。
D-517	『日本フランス語フランス文学会中部支部 研究報告集 No15・抜刷』	1991 年 3 月	「クレチアン・ド・トロワ:『聖杯の物語』に於ける「対位法」の問題」	渡辺浩司/日本フランス語フランス文学会中部支部	表紙に「新村猛先生悲願」と書込みあり。
D-518	『大谷幾雄通記 カンタタ』	1948 年 10 月 1 日	「みはとけさまに手をあはせ」 (父谷智子裏方作詞, 木下保作曲)	大谷幾雄	
D-519	ノート 『General Culture Philosophy』	1946 年 7 月 1 日～ 1947 年 6 月 9 日	新村猛が講義をする際に作った講義ノート (のコピー) か	新村猛	コピー。
D-520	『世界文庫リスト』	未詳	『日次分類「英文学」／「仏文学」／「独文学」 186 冊分のリスト』	未詳	
D-521	『現代と思想』第 14 号所収 『鶴見俊輔・山本明編「抵抗と特異」所収』	1973 年 12 月	「ルー・マニア・ハンガリーみやげ話」	和田洋一	
D-522		1979 年 4 月	「良心の自由について」	新村猛	
D-523	『学問・文化・思想の自由と民主主義 シンポジウム記録集 ― I』	1976 年 7 月 3 日	新村猛「(講演) 戦前の暗い思い出 ―「世界文化」の頃」所収	学問・文化・思想の自由を守り、暗黒政治に反対する学者・文化人・宗教者の会 (略称 3・15 声明の会)	4 部。正誤表が挟み込み。
D-524	『学問・文化・思想の自由と民主主義 シンポジウム記録集 ― III』	1977 年 2 月 8 日	新村猛「「三・一五声明の会」のあいさつ」	学問・文化・思想の自由を守り、暗黒政治に反対する学者・文化人・宗教者の会 (略称 3・15 声明の会)	
D-525	『ら・びじと』第 9 冊	1951 年 6 月 1 日		京都府観光局	
D-526	『北日本新聞』	1977 年 8 月 5 日	『素描 原水禁統一世界大会の主催者代表 新村猛』	北日本新聞社	
D-527	『三高歌集 創立九十五周年記念』	1964 年 11 月		久米直之/三高同窓会	旗「三高創立九十五周年全同大会 一九六四年」, 名札「大三正十五年文科丙 新村猛」挟み込み。
D-528		〔1937 年 4 月〕	『プーシンの 100 年祭』	新村猛	『世界文化』1937 年 4 月号に同口名義で発表した原稿の復刻。
D-529		〔1936 年 1 月〕	『フランスに於ける唯物論研究の現状 哲学軍政者のための一報告』	新村猛	写し。『思想』176 号 特集フランス哲学 1936.1 1-021』と記載。書き込みあり。
D-530		〔1935 年 8 月〕	『巴里に於ける三つの伊太利美術展覧会』	関口	写し。『世界文化 1935.8 No. 72-001』と記載。ホチキスで綴じ。
D-531		〔1937 年 2 月〕	『スベイン・ニューズ スペイン内乱とポーランド新聞』	高杉	写し。『世界文化 1937.2 No. 26 4-018』と記載。ホチキスで綴じ。
D-532		〔1937 年 2 月〕	『現代文化 動向と潮流 フランス教育界の近況 (上) 大革命以後現代に至る教育改革の趨勢』	新村猛	写し。『世界文化 No25 (昭 12.1) No26 (昭 12.2) 3-002』と記載。ホチキスで綴じ。
D-533		〔1936 年 12 月〕	『世界文化情報 ジュネーヴに於ける第一次世界青年会議』	関口	写し。『世界文化 1936.12 No24 4-017』と記載。ホチキスで綴じ。
D-534			『モンテニユロの「エセエ」に就いて』	新村猛	写し。『1-015』と記載。ホチキスで綴じ。
D-535		〔1935 年 12 月〕	『巴里に於ける国際科学哲学大会』	関口	写し。『世界文化 1935.12 No12 4-007』と記載。ホチキスで綴じ。
D-536		〔1937 年 3 月〕	『通けるスベインの老思想家ウナムノ』	関口	写し。『世界文化 1937.3 No27 3-003』と記載。ホチキスで綴じ。
D-537		〔1935 年〕	『新刊紹介 アンドレ・シークフリード著 内閣忠誠派「フランス 国民性の研究」』	高杉	写し。『世界文化 1935 No3 3-001 1-009 10』と記載。
D-538		〔1935 年 3 月〕	『ランソン教授の死の母儀』	関口	写し。『世界文化 1935.3 No2 1-007』と記載。
D-539		〔1947 年 12 月〕	『東洋と西洋』	新村猛 中井正一 久野収 重澤俊郎 青山秀夫 重松俊明	写し。『1947 年 12 月号「潮流」』と記載。ホチキスで綴じ。
D-540		1946 年	『救国民主戦線私論 共同動作の意義について』	新村猛	写し。ホチキスで綴じ。

新村猛関係資料目録Ⅱ（奥村・須永・福家）

D-541	[1946年11月1日]	『歴史の本流と文芸』	新村猛	写し。「国際女性」1946・11・1「1-035」と記載。
D-542	[1946年1月]	『平和への道』	新村猛	写し。「新社会」1946年1月創刊号表紙とともにホチキスで綴じ。
D-543	1946年1月	『新社会』1946年1月創刊号		
D-544	1969年4月	『人権のひろば』46号	愛知人権連合	新村猛「指紋採取と人権」掲載。同論写しを挟み込み。
D-545	[1969年3月15日]	『例会報告 127回例会（昭和43年11月15日）フランスの大学問題と五月動乱』	新村猛	写し。「名古屋キワニスクラブ 1969.3.15 3-052」と記載。
D-546	[1969年10月]	『青年労働者のいきがい』	新村猛	写し。「学習のひろば 1969.10 3-057」と記載。
D-547	[1969年5月]	『唯物史観と仏文字研究 小堀雄三「光と鏡」』	新村猛	写し。「1969.5.18 1-089」と記載。ホチキスで綴じ。
D-548	[1969年10月]	『「広辞苑」の将来について 荒正人・戸板康二両氏への答礼として』	新村猛	写し。「5-003 中央公論 1969.10」と記載。ホチキスで綴じ。
D-549	[1975年]	『「世界文化」のこと（一）復刻版の刊行を機に』	新村猛	写し。「4-041 展望 1975」と記載。修正済み込みの写しあり。
D-550	1965年5月11日	『学園を犯した「防犯指紋」 おこれ一般市民の人権感覚』	新村猛	写し。「3-054」と記載。「朝日ジャーナル」1965年5月11日号掲載。ホチキスで綴じ。
D-551	[1969年12月]	『天皇版伊曾保物語原本筆写のことなど』	新村猛	写し。日本ボルトガル協会会報 5 1969.12 1-090」と記載。
D-552		『原夏子書簡』	原	書き込みあり。
D-553		『性別式運営と係りに関するメモ』	三一書房	書き込みあり。新村猛告別式。
D-554	1996年1月12日・1995年12月31日	『新村泰子宛取書』		
D-555		『時歌写し一括』		クリップで綴じ。
D-556		『タカラ・テラさんについて』	新村猛	直筆。No.1-7。
D-557	1965年5月11日	『学園を犯した「防犯指紋」 おこれ一般市民の人権感覚』	新村猛	「朝日ジャーナル」1965年5月11日号掲載。
D-558		『新聞 ツルの巣ごもり』	タカラテイル	ホチキスで綴じ。芸術文化センター代表取締役高田唐吉の名刺挟み込み。
D-559		『凡例』		写し。No.1-7。ホチキスで綴じ。
D-560		『トラス・オス・モンテス』		写し。ホチキスで綴じ。
D-561		『TRAS-OS MONTES』		写し。ホチキスで綴じ。
D-562	1969年7月17日	『車眼視眼 本格的なロマンス語研究を』	新村猛	写し。「新潟日報」と記載。
D-563		『車眼視眼 本格的なロマンス語研究を』		写し。
D-564		『新村猛氏の母状姓通』		写し。
D-565		『補足資料 新村猛氏の国際父流関係活動歴』		写し。
D-566		『新聞記事写し』		新村猛新機記事4点をまとめて写し。
D-567	1987年8月29日	『新聞記事切り抜き』		写し。京都新聞。雑誌「近衛」同人の記念撮影。大阪府箕面市無職市村一（80）からの投稿写真。
D-568		『挿絵一括』		写し。英語地名を書き付け。2枚。
D-569		『書き付け』		写し。
D-570	1967年6月24日	『図書新聞 1967年6月24日』		
D-571		『新村猛「ロマン・ロラン」（岩波書店、1958年）校正原稿』		
D-572		『「奥の細道」を』		
D-573	1971年2月17日	『「奥の細道」を』		
D-574		『新村猛「平和運動と人民戦線の思想」校正原稿』		
D-575		『手書き原稿写し』		
D-576		『「呼びかけとご案内」』	新村猛	日本社会党に関する集会の案内。
D-577	1956年3月2日	『新聞切り抜き』		新村猛「中国など統一が先決」。「1956.3-2 中日」の書き込みあり。
D-578		『「奥の細道」を読み返して』		写し。
D-579	1955年11月12日	『新聞切り抜き』		「アサヒ 一九五五・一一・一二朝刊」の書き込みあり。
D-580		『民主戦線と知識人』		写し。同論考の校正原稿挟み込み。
D-581		『「反ファシズム戦線と知識階級」』		写し。
D-582		『民主戦線と宗教問題』		写し。

D-583			「教育者再教育の問題」			写し。
D-584			「モリエールにおける女性論議」			写し。
D-585			「『藩仏通感』校正原稿」			
D-586			「猛という名前の因縁」			写し。
D-587			「海外文化政策の荒廃」			写し。
D-588			「知識人たる誇り」			写し。
D-589			「哲学断想他二編」			写し。
D-590			「ヨーロッパで接した青年たち」			写し。
D-591		1977 年 3 月 13 日	「昭和十年代の思想と文学」			写し。「一九七七年三月十三日新村猛先生より受贈雑誌「日本文学」抜刷」とあり。
D-592			「戦前の暗い思い出―『世界文化』の頃」			写し。
D-593			「本田喜代治さんを読んで」			写し。
D-594			「学究として生きぬく勇氣」			写し。
D-595			「辞書の登録性と頻転性 一報に「広辭苑」第二版に 関連して―」			写し。
D-596		1972 年 1 月 1 日	「政経ブック No.149」			
D-597		1982 年 6 月 26 日	「La Littérature française du Moyen Âge」		新村猛	写し。「平和運動 20 年史」所収 1970? 4-040」と記載。
D-598		1973 年 7 月	「公けの場」			ホチキスで綴じ。
D-599			「戦後日本の平和運動をめぐって」		新村猛	写し。「世界文化 1936.11 No23 4-016」と記載。ホチキスで綴じ。
D-600		[1936 年 11 月]	「スペインの新首相サルガ・カバリエロ」		高杉	写し。「世界文化 1936.11 No21 1-029」と記載。ホチキスで綴じ。
D-601		[1936 年 11 月]	「内田中に他界したスベインのバリエ・インクラン」		高杉	写し。「世界文化 1936.8 No20 4-015」と記載。ホチキスで綴じ。
D-602		[1936 年 8 月]	「世界文化情報 フランス新聞首報 レオン・ブルーム」		関口	写し。「世界文化 1936.4 No16 4-010」と記載。ホチキスで綴じ。
D-603		[1936 年 4 月]	「バサ」に於ける「大学博識大会」		関口	写し。「世界文化 1936.3 No15 4-009」と記載。ホチキスで綴じ。
D-604		[1936 年 3 月]	「世界文化情報 菊広親善論の白頭とその行衛 フランスを中心として」		関口	写し。「世界文化 1935.7 4-005」と記載。ホチキスで綴じ。
D-605		[1935 年 7 月]	「反ファシズム科学者メルセル・ブルナン」		関口	写し。「世界文化 1935.7 No6 1-017」と記載。ホチキスで綴じ。
D-606		[1935 年 7 月]	「ジュエル・ヴァリエの五十年祭」		関口弘	写し。「1-031」と記載。ホチキスで綴じ。
D-607			「新・刊・批 評 ロマン・ローラン著 石井友幸訳 闘争の 十五年」			新村猛宛。海川秀樹等直筆署名。
D-608		1977 年 12 月 4 日	「フランス政府学維功功章 包紙」		京一中大正十三年会	写し。ビニール袋内。
D-609		1970 年 6 月 20 日	「伊竹仙先生遺稿集」		三高同窓会関東支部	
D-610			「フランス語書付」			自筆。
D-611		1982 年 5 月 28 日	「フランス大使閣下への贈答の具体的要旨」			右原廣昭送付状を同封。
D-612		2005 年 7 月	「新村猛『運動の統一を求めて』に思うこと」		石原廣昭	写し。「加筆用」と記載。ホチキスで綴じ。
D-613	封筒「経歴書在中 (邦文一部・仏文二部など)」		「新村猛先生御功績」			
D-614	封筒「経歴書在中 (邦文一部・仏文二部など)」	1970 年	「Vine CONGRÈS INTERNATIONAL DE LANGUE ET LITTÉRATURE D'OC ET D'ÉTUDES FRANCO- PROVENÇALES」			写し。ホチキスで綴じ。
D-615	封筒「経歴書在中 (邦文一部・仏文二部など)」	1970 年 4 月 30 日	「CURRICULAM VITAE de Monsieur Takeshi SHIMMURA」			写し。2 部あり。ホチキスで綴じ。
D-616		1968 年 7 月 2 日	「フランス語書付」		新村猛	3 部あり。
D-617		1968 年 12 月	「例文 (faire que sage(s)) における que について」		新村猛	
D-618	封筒「出版契約書」	1991 年 12 月 28 日	「出版契約書」		新村猛・三一書房島山滋	
D-619	封筒「出版契約書」	1992 年 7 月 8 日	「新村猛氏蔵書の整理について」			2 部あり。
D-620	封筒「出版契約書」		「新村猛著作集 (案)」		編集 今江洋智・川村孝則	
D-621	封筒「出版契約書」		「新村猛著作集 著作目録」			

新村猛関係資料目録Ⅱ（奥村・須永・福家）

D-622	封筒「出版契約書」		「新村猛著作集」	編集 今江洋智・川村孝則	ホチキスで綴じ。
D-623	封筒「出版契約書」		〔三省堂短注文書〕		
D-624	封筒「19-Ⅳ-85 真下先生を偲ぶ会 18h 30～20h 30 名古屋青年会」		「JSA 愛知ニュース」89 号	日本科学者会議愛知支部	5 部あり。新村猛「真下信一君を偲ぶ」掲載。
D-625	封筒「19-Ⅳ-85 真下先生を偲ぶ会 18h 30～20h 30 名古屋青年会」	1987 年 2 月 1 日	〔写真〕		裏に「故真下信一君墓地 1-Ⅱ-1987 豊橋市辺境墓園にて」。
D-626	封筒「19-Ⅳ-85 真下先生を偲ぶ会 18h 30～20h 30 名古屋青年会」	1987 年 2 月 1 日	〔写真〕		裏に「1-Ⅱ-1987 故真下信一君墳墓」と記載。
D-627		1987 年 4 月	「新村猛氏寄贈文庫目録一覧」	愛知女子大学短期大学東海地域文化研究所	ホチキスで綴じ。
D-628		1956 年 12 月	「名古屋大学文学部フランス文学研究室名簿」		新村著「ロマン・ロラン」関係雑誌新聞記事切り抜きを挟み込み。
D-629		1983 年 7 月		発起人 斎藤士伊藤公・大脇保彦・名古屋市 職員労働連合会執行委員長 服部信夫・国鉄 労働愛知県支部執行委員長 野田文夫	金額と名前・機関名を列記。
D-630		1952 年 8 月 15 日	「新村猛先生の海外交流に対する「カンパ」のお願い」 「たかむら」	編集同人会	「禮呈 新村猛先生」と記載。市川亀久弥からの贈呈か。 編集同人：金野庄八・宇野秀雄・前田雄三・中谷隆亮・高田政弘・ 小川幸三・深田正一。
D-631	封筒「新村猛先生 四十八年二月 十八日午後 於京都北山受領」	1973 年 2 月 17 日	「御報告」	愛労研 成瀬昇	新村猛先生宛。
D-632	封筒「新村猛先生 四十八年二月 十八日午後 於京都北山受領」	1973 年 2 月 22 日	「統一名古屋市長選挙体制についての協定（案）」		
D-633	封筒「新村猛先生 四十八年二月 十八日午後 於京都北山受領」		「政策協定（案）」		